

# 苫小牧市教育委員会会議録

会議区分	苫小牧市教育委員会 第 2 回 定例委員会
日時	平成24年2月15日 自 15時 至 16時50分
場所	苫小牧市役所第2庁舎 1階会議室
出席委員	委員長 上原 毅 委員 鈴木 正樹 委員 佐藤 守 委員 佐藤 郁子 委員 山田 眞久
欠席委員	佐藤 郁子 委員
会議録署名委員	鈴木 正樹 委員
会議録作成職員	総務企画課総務係主事 田 中 亮 太
事務局職員	学校教育部長 齊 藤 章 吾 スポーツ生涯学習部長 松 浦 務 学校教育部次長 田 中 章 嗣 スポーツ生涯学習部次長 鹿 野 定 幸 総務企画課長 戸 村 真 規 総務企画課総務係主査 三 橋 大 輔 総務企画課総務係主事 田 中 亮 太
会議案件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1	委員会開会の宣言（上原委員長） … 15時
2	会議録署名委員の指名（鈴木委員）
3	教育長の報告
	先般の6日、7日の胆振管内教育委員会研修会があり、委員にも参加していただいた。
	1日目は道教委教育指導監の福井一之氏による「特別支援教育の視点から見た教育の今日的課題について」の講演があった。2日目は教育行政部会、学校教育部会、社会教育部会に分かれ、いずれも共通テーマである学力向上について各市町教育委員会の取組みなどを公表し、熱心に協議され成果を挙げることができた。特に御講演をいただいた福井氏には講演の後、苫小牧の養護学校設置要望経過を私からお話しし、よく御承知であったので、今年も市教委として説明に上がりますと伝えることができた。
	前回1月24日教育委員会以降の報告であるが、1月に、7月開催予定のPMF演奏会の実行委員会、学校給食運営審議会、子ども会儀、博物館大学の卒業式が開催され、2月に入って、スケート祭りでは道新杯争奪小学生アイスホッケー大会、学校給食理事會、沖医院から17年間続いている医療関係図書の寄贈があった。
	早いもので3学期も残すところ1か月半となり、公立の推薦入試や私立高校の入試も始まっている。一方、全国的にインフルエンザが猛威を振るっている。本市でも6日に警報が発令されたが、13日の発表では一定点医療機関患者数が52人となっている。学校でも学級閉鎖や学年閉鎖が拡大し、授業時数の確保や学習のまとめ、卒業式準備に支障が考えられるので、感染予防と授業時数確保の対応策をしっかりと立てるよう呼びかけている。子ども達にとっては巣立ちの時期を迎えている。自分の成長を振り返るとともに、友達、家族、先生に対して感謝の気持ちを持って、新たな旅立ちとなるよう指導して参りたいと思う。

<p>明日は議員説明会があり、議会モードになってきた。本日は、平成24年度の教育行政執行方針や予算案件さらに条例の一部改正など、議会に提出する内容を担当者から御説明する。</p>
<p>最後になりますが、卒業式は議会日程と重なっているので、私どもの出席が厳しいが、委員には都合が付けば学校に伝えるので、出席可能であればお願いしたい。</p>
<p>(上原委員長) 意見や質問があれば、お受けする。</p>
<p>(一同「なし。」の声)。</p>
<p>4 議 案</p>
<p>第1号 苫小牧市特別職の職員の給与に関する条例及び苫小牧市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正について</p>
<p>(スポーツ生涯学習部長) 苫小牧市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について御説明する。同条例の第1条第5号中「体育指導委員」を「スポーツ推進委員」に改める。こちらはスポーツ振興法の全部が改正され、スポーツ基本法が平成23年6月24日に公布され、同年8月24日に施行された。「体育指導員」という名称が「スポーツ推進委員」に変わったことから関係条例を整備する。なお旧名称を用いている規則があり、苫小牧市教育委員会事務局の組織等に関する規則並びに体育指導員規則を施行日までに改正する。</p>
<p>(学校教育部長) 第2条の苫小牧市教育委員会教育長の給与等に関する条例一部改正について御説明する。附則第4項中「平成24年3月31日」を「平成25年3月31日」に改める表現があるが、実は市長、副市長、監査委員について今まで市長は100分の15、副市長及び監査委員については100分の10の報酬削減をしている。それを1年間継続する条例改正だが、これに合わせて教育長の給与についても100</p>

分の10の削減を1年間延長したいという改正である。
(佐藤守委員) 審議会から削減割合に対しての提言があったと聞いているが、それはそれまでの継続するのか。市長と削減割合が違う状態を続けるのか。
(学校教育部長) 報酬審議会から方針があったが、具体的な指示は私どもには来ていない。来た時点で内部において検討したい。
(上原委員長) 何か意見や質問はあるか。ないようなので、原案どおり決定してよろしいか。
(一同「異議なし。」の声)
—原案どおり承認—
第2号 苫小牧市学校給食共同調理場条例の一部改正について
(学校教育部長) 今回の議案は、平成24年4月に供用開始する苫小牧市第1学校給食共同調理場の移転に伴い、その位置を変更するため住所を「苫小牧市新富町2丁目3番8号」から「苫小牧市柳町1丁目3番5号」に変更し、併せて学校給食共同調理場運営審議会の委員の任期につき、市内部のほとんどの審議会では2年以上となっていることから、現行の任期を1年から2年に改める。この条例の施行日は本年4月1日とする。
(佐藤守委員) 任期の1年というのは、PTA役員等が毎年変わるためかと思うが、特別この審議会だけ変わるのか？
(学校教育部長) 任期が1年となると必ず全ての委員が毎年変更になってしまう。PTA役員の中から推薦の中で変更という手続ができるので、そういった対応をしていきたい。
(教育長) 学校の先生方とPTAの代表が委員を務めているのが給食会理事会である。こちらは1年ごとに役員が変わるが、審議会の委員は各団体の役員と市民公募委員と

で構成しているので、団体の役員が変わったら補充しなければならないが、2年間安
定させたい。
(上原委員長) 何か意見や質問はあるか。ないようなので、原案どおり決定してよろし
いか。
(一同「異議なし。」の声)
－原案どおり承認－
第3号 苫小牧市立小中学校設置条例の一部改正について
(学校教育部長) 平成25年4月に苫小牧市立拓進小学校を設置し、及び苫小牧市立弥
生中学校を廃置するため、関係規定を整備するものである。公の施設の設置について
は地方自治法第244条の2の条例で定める規定があり、苫小牧市立小中学校設置条
例の別表(1)に名称「苫小牧市立拓進小学校」その位置を「苫小牧市拓勇西町3丁
目8番地」を加え、別表(2)の「苫小牧市立弥生中学校」その位置「苫小牧市弥生
町1丁目9番11号」を削除する。この条例の施行日は平成25年4月1日とする。
(上原委員長) 何か意見や質問はあるか。ないようなので、原案どおり決定してよろし
いか。
(一同「異議なし。」の声)
－原案どおり承認－
第4号 苫小牧市公民館条例の改正について
第5号 苫小牧市立図書館条例の一部改正について

第6号 苫小牧市博物館条例の一部改正について

(スポーツ生涯学習部長) 昨年公布された地域主権改革一括法により、それまで各法律、社会教育法、図書館法及び博物館法で規定されていた委員の選任基準が各法律から削除され、同様の基準が文部科学省令で規定されたとともに、省令の基準を参酌して各自治体がそれぞれの条例で定めることになった。いずれの委員も省令に定める基準のとおり<sup>の</sup>文言とし、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に活動する者並びに学資経験がある方から基準を参酌し任命することになる。それぞれの条例に、同様の規定を設けるため条例の一部を改正する。なお施行日は本年4月1日である。

(上原委員長) 何か意見や質問はあるか。ないようなので、原案どおり決定してよろしいか。

(一同「異議なし。」の声)

—原案どおり承認—

第7号 平成23年度教育費補正予算について

(学校教育部長・スポーツ生涯学習部長) —議案第7号の説明—

(上原委員長) 質疑に付す。

社会教育総務費の文化芸術振興計画施策推進事業費は、当初予算5,000千円計上だったが、補正で1,400千円減額になっているが、当初の予想とだいぶ差があったことなのか。

(スポーツ生涯学習部次長) 大口が減ったこと、札幌コンサート等がなくなった。もう1点は基準を厳しくさせていただいた。具体的にいうと、年末に行っているオーケストラだが、練習期間を閉じてカットすることで1,000千円程減っている。

(上原委員長) ただ折角こういった制度があるわけで、文化振興に使っていただきたい。
申請された段階で合致しないのであれば仕方がないが、大体何件くらい申請があって何件くらい不承認だったのか？
(スポーツ生涯学習部次長) 申請が30件程ある。大体承認している。基本的に承認したいと考えている。基金財政との兼ね合いがあり、広くこの制度を利用してもらうため基準を厳しくした。先程申し上げた当日練習しない場合を不承認とするといったことや旅費も安いチケット、市の基準を限度することなどで基準を厳しくした。趣旨としては、できるだけ多くの方に使っていただきたいと考えている。
(上原委員長) 申請件数というのは毎年増えているのか？
(スポーツ生涯学習部次長) 大体同じくらいだ。
(佐藤守委員) 保健体育費で、プールやスケート学習の会場使用料・バス借上料の減ということだが、機会が減って授業に回されたということなのか。
(学校教育部長) 実際上、使わなくても例えば徒歩で行った場合などあるようで、これをやめて授業に回したという理由ではない。
(上原委員長) 何か意見や質問はあるか。ないようなので、原案どおり決定してよろしいか。
(一同「異議なし。」の声)
—原案どおり承認—
第8号 平成24年度教育行政執行方針について
(指導室長・スポーツ生涯学習部次長) —議案第8号の説明—
(上原委員長) 質疑に付す。
(佐藤守委員) 本市教育支援ボランティアや道教委事業の学生ボランティアを活用しな

<p>がらとあるが、市のボランティアも募集していると思うが、道教委の学生ボランティアと中身は同じなのか。教育大の学生ということで、旅費等は道で負担し、その他は苦小牧で負担する形だと思うが、市のボランティアと道教委のボランティアの条件面で揉めることなどないのか。</p>
<p>耐震診断業務を完了するとともに補強工事を実施すると思うが、対応していく順番について関心があると思うが、順番付けしていく予定はあるのか。</p>
<p>アウトリーチ事業の対象を一般の方にも拡大することは新たな取組だと思うが、具体的な中身が分かっていたら教えていただきたい。</p>
<p>太陽光パネルは、新しい学校関係にも設置するのか。</p>
<p>スポーツの振興について、昨年もなかった気がするがスポーツ都市宣言が今回も抜けているのはなぜか。</p>
<p>(指導室長) 本市の教育支援ボランティアと道教委事業の学生ボランティアの活動について、本市教育支援ボランティアは中心になるのは補習に対するサポートになるので、道教委の事業と重なる部分がある。条件面では本市ボランティアは無償なので、教育委員会としてはボランティア保険に加入していただき万が一ボランティアの活動又は学校に向かう途中事故に合ったときに何らかの保障をすることになる。道教委事業について、当初は教育大学だったが現在は教育大学、北大と複数の大学の学生を夏休み等の補習に使っている事業である。条件の部分につき、交通費は全て道教委、その他については札幌からの派遣ということで日帰り対象になるため、学生ボランティアには苦小牧市からは全くお金を出さずに活用できる。夏休みと冬休み、小・中で積極的に活動している。ただ、学生の数がなかなか確保できず、学校側の要請（日にちや人数）に応じられないが、調整していきたい。夏・冬休みには教育支援ボランティアと一緒に活動している実態があるので両方併用にできると思う。</p>
<p>(学校教育部長) 耐震診断業務については、新年度予算の中でも計上しているが、24年度で全ての耐震診断が終わる予定だ。その上で耐震についての順番もあるが、合わせて老朽化の方についても議会で論議されているので、全体計画は考えている。具体</p>



<p>的には、24年度の秋以降25年度からの3か年実施計画を整理しなければならないので、合わせて計画を予定する。</p>
<p>拓進小に太陽光パネル設置にするかについて、全体を網羅できる環境ではないが、今のところ7kwのパネルを考えている。自然エネルギーということで、僅かだがLED、天然ガスなども考えている。</p>
<p>(スポーツ生涯学習部長) スポーツ都市宣言だが、昨年、屋内リンクハイランドスポーツセンターを閉鎖して、スポーツ都市宣言に見合うような新たな事業の展開が、24年度の予算もなく、強調する政策がないので、打ち出しにくい。夏に市長が陸上競技場に向けての発言をすると聞いているので、具体化されれば考えていきたい。</p>
<p>(スポーツ生涯学習部次長) アウトリーチ事業について、具体的にアートフェスティバルを昨年しているので、今年も実施したい。その中で有珠の沢町内会の方が参加していただいたので、他の町内会にも働きかけたいと考えている。しかし、具体的に決まっていないので検討しているところである。</p>
<p>(佐藤守委員) 若い人達にスポーツ都市宣言が忘れられている気がする。「苫小牧ってスポーツ都市宣言していたの？」とよく聞かれるので、できれば記載してほしい。陸上競技場の話が出たが、資料には記載されていないが市長が発言するという事で了解した。</p>
<p>(教育長) それぞれの団体があっちもこっちも「あれもスポーツだ、これもスポーツだ。」と次から次へと要望が出ていて、市長も正直困ってしまっている部分がある。スポーツ都市宣言は、もしかしたらスケートに目を向けた「氷都苫小牧」むしろ特化したスポーツ都市宣言が良かったのではないかと話題になった。</p>
<p>(上原委員長) 全天候型の競技場ですが、去年触れている。1番関心があることなので触れてもいいのではないかと。ただ今年度の秋口には結論出さなければならない。どういった形にせよ触れていいのではないかと。</p>
<p>(スポーツ生涯学習部長) 24年の予算で経費をいただいていると言いが、24年度は一切いただいているので、触れづらい。</p>

(上原委員長)	それは首長さんの考えであって、教育委員会としては触れてほしい。
(上原委員長)	「文化公園アートフェスティバル」だが、去年は「カルチャーパークアートフェスティバル」だったが、名称を変えたのか。
	平成24年度から中学校で新学指導要領の実施だが、その件について触れなくていいのか。
(スポーツ生涯学習部長)	「文化公園アートフェスティバル」だが、実は第1回目が「文化公園芸術祭」、去年が「カルチャーパークアートフェスティバル」であった。実行委員会形式で決めているが、実行委員方が「カルチャーパークという名前自体がどこなのか。」「市民に認知されていないだろう。」と意見があり、市民に分かりやすい正式な名前と呼んだ方がいいと意見が多く、戻した。
(学校教育部長)	中学校の新学習指導要領の実施だが、苫小牧だけでなく全国的に進めていることで、行政執行方針に記すべきものと捉えてなかった。
(上原委員長)	教育委員会としては受ける側、先生方の体制はどうなっているのか気になった。
(鈴木委員)	虫歯予防について、フッ化物だが、以前劇物という問題が出ている、今回フッ化物は安全ということでモデル校設置になったのか。
(学校教育部長)	日本弁護士連合会の方がフッ素そのものの取扱いについて意見を出していたが、希釈されたフッ化物であり、健康に悪影響はないと思われる。取扱いを全て薬剤師会、当然歯科医師会連携とっているが、保護者にとっても不安を抱かせないような形での実施方法をとる。若草小、勇払小だが、保護者の説明はこれから行う。その中で同意書を徴し、保護者が同意しない場合は仕方ないが、理解された方のみ実行していく考えである。これについては国も道も推進している事業だ。
(鈴木委員)	あまりにも世間等で悪いイメージだったので、保護者の方がどこまで理解しているのかな、と思った。
(教育長)	詳しく説明していかないと理解してもらえない。そのために、全部一斉にするのではなくモデル校を作って説明し、検証した後、拡大していく方向で考えている。

<p>しかし、この問題については、見解が相違し、平行線のまま、12月の議会でも話題になり、2月議会の中でも審議されるだろう。</p>
<p>(上原委員長) 何か意見や質問はあるか。ないようなので、原案どおり決定してよろしいか。</p>
<p>(一同「異議なし。」の声)</p>
<p>—原案どおり承認—</p>
<p>第9号 平成24年度教育費予算について</p>
<p>(学校教育部長・スポーツ生涯学習部長) —議案第9号の説明—</p>
<p>(上原委員長) 質疑に付す。</p>
<p>(佐藤守委員) 外国青年招致事業だが、苫小牧にはたくさんの外国の方がいるが、その代わりになる方もいると思うが対象にならないのか。</p>
<p>(教育長) 対象にしてもよいが、基本的に英語がきちんと話せる人ということで、外国人を使っているが、苫小牧にいる外国人でも英語は話せても、母国語が違くと危ないの で御理解いただきたい。</p>
<p>(佐藤守委員) 面接試験等はあるのか？</p>
<p>(指導室長) 国の事業を活用したものであり、基本的に外国にいる青年を招致している。 4名中3名が国の事業を利用している。1名は市の単費によるものである。その1名については、特に縛りはない。</p>
<p>(教育長) ALTと市内の外国人のボランティアとを両方活用するのはいいことだと思う。学校支援ボランティアとして登録していただけるといいが、なかなか見つからないのが現状だ。</p>
<p>(指導室長) 非常勤講師で道教委の事業中で活用して、小学校において苫小牧市に住ん</p>

でいる外国人の方を講師として活用している例がある。
(佐藤守委員) 遠征費用の旅費が減額されることだが、来年度以降ということで今年度は従来どおりでいいのか。各団体には予算が決まった段階で知らせるのか。
(スポーツ生涯学習部長) 3月7日に体育館の調整会議が開かれる。その際スポーツ団体の方が集まるので、そこで説明する予定である。
(佐藤守委員) ハイランドの屋内リンクは完全閉鎖ということで、当面の活用はしないのか。
(スポーツ生涯学習部長) その予定である。
(佐藤守委員) インラインホッケーの関係者から、氷上が無理であればインラインで使えないだろうかと問合せがあったが、それも無理なのか。
(スポーツ生涯学習部長) 実は、フットサル等の団体の一部から、使えないか聞かれた。閉鎖の理由としては、長らく使用していたプールの塩素で鉄骨自体に危険性があるということである。平成24年度耐震診断費用も予算要求したが不可になったので、そういった経過を見ると、勝手に診断を下して使っていいということにはならない。今のところは未定だ。
(鈴木委員) スポーツ施設関係だが、まめに少しずつでも予算を取り、修理などに充てていかないと、1度なくなるとなかなかできないような感じになるんで、よろしく願いしたい。
(上原委員長) 確か今年の春から学校施設の耐震化率が50何%だったと思うが、これが今年度することによって具体的にどのくらいの耐震化率になるのか。
弥生中学校閉校委員会事業費とは700千円と計上されているが、その内容について分かれば教えていただきたい。
青少年対策経費だが、平成24年度に少年保護センター経費があったが、今年なく非行防止支援対策経費というのが平成23年に比べて倍近くなっているんで、教えていただきたい。
町内会スケートリンク経費助成金について、年々減っている気がする。町内会地域も

含めて、相当減ってきているので減少しているのだろうが、何か方法を考えていかないと大変だなと思う。その辺の考え方を聞かせてほしい。
旧第1学校給食共同調理場閉鎖事業費の2,530千円の内容について教えてほしい。
(学校教育部長) 旧第1給食2,530千円について、あの場所に埋設してある地下タンクの撤去に1,500千円ほどかかる。最終的には更地になるが、取りあえずはコンパネで窓などを塞ぐ経費が総額1,000千円となる。それが2,530千円の内訳である。
耐震化率の問題だが、平成23年度の耐震診断は全て終わっていないが、一部については結果が出ている。それらを踏まえて、平成22年度末では53.6%の耐震化率であり、今分かっている範囲では62%に上がっている。結果が出ていないものもあるのでプラスαでくると思う。24年度では、19棟の診断を終えてないので、A診断が大丈夫と判断されれば工事しなくても率は上がってくるといことになる。24年も補強工事完了するものもあるので、率は上がると思います。
(スポーツ生涯学習部長) 青少年指導センターについて、これまで少年指導センター費というのと非行防止啓発活動費と2本立てでしていた。それを今回非行防止支援対策経費ということで項目をまとめた。2つ足した経費については同額です。財務会計システムが導入されてから、事業の項目が違うだけで流用する等の手間がある。同様の事業なので、事務をスムーズにするために統合した。
町内会のスケートリンク経費助成金だが、今1か所62,750円助成しているが、現在町内会4つでしか作っていない。各町内会からは、1町内会1か所と決まっているので、人口が増えている町内会からは2か所にできないか問合せがある。所要額は確保してある。補助金についても、62千円としているが、実質町内会が負担している水道代が10千円かからないくらいであり、あとは除雪経費、参加していただいた方への飲食、会食等の経費で、不足するものは町内会から補助して助成金と合わせている。御指摘のとおり、町内会は、昔は30とか40とかありましたが、今はどんどん減っている。

<p>そのため、子ども達にとってはスケートが身近でできなくなっている。昨今の暖冬により、水を撒いても凍らないこともある。スポーツ生涯学習部としては、小さいうちから身近（家の近く）でスケートができる環境が必要だと認識しているが、暖冬の問題と町内会の協力者がいない問題を、別な方策としてスケートを好きにさせるというのを担当部署として考えているが、具体的な即効性の解決案が見つからない。</p>
<p>(学校教育部次長) 弥生中学校閉校委員会事業費について、弥生中の廃校に当たって閉校記念協賛会を組織している。その中で式典費用や記念誌、こういったもので1, 200千円ぐらい予算計上した。他市の状況とか見て、例えば、市が記念誌費用だけ出すというよりも全部の中で、何十万円をお願いしますって言った方が良いということで、特に、何がいくらとかで計上している訳でない。</p>
<p>(佐藤守委員) 町内会リンクの関係で、学校リンクは、作っている学校、作っていない学校があるが、学校に補助金あるのか。水道代、照明代は学校負担になるが、前に学校で作っていたリンクに対して、学校にスケートリンク補助金みたいのがあった話を聞いたことがあるが、今はどうなのか。</p>
<p>(指導室長) 勤務時間外に先生方が水を撒き手伝っていて、報償費がある。</p>
<p>(教育長) 先生方が水を撒く、その報償費が付いている。それを先生方はアイスホッケーをしている方に折半している方法を取っていた。実施しているところは少なくなつた。</p>
<p>(佐藤守委員) 昔、アイスホッケーでフェンスが支給されていたと思うが、今は別枠で請求があつてお金足していたのか。</p>
<p>(教育長) どこで作っているのか分からない、若草小にもあつたけど使わないで放置して雨風でやられた。</p>
<p>(佐藤守委員) 今回スケート祭りでフェンス立てたが、あれは西小から借りてというかもらつたというか・・・。</p>
<p>(山田教育長) 学校に大抵あつたように思う。</p>
<p>(佐藤守委員) 北星小学校はまだあつたが、もしそれを直す、補修したい場合に請求で</p>

きるのか？
(教育長) それはちょっと分からない。若草小はどこかに保管しているのか。
(指導室長) 若草小は木の支給受け、自分達で作った。
(教育長) それは今どこにあるか分かるか。
(指導室長) 処分したのではないか。改修の時に改修小屋を壊したので、その時に処分したのではないか。
(山田教育長) もったいない。
(佐藤守委員) フェンスを直したいという補助はないのか。
(指導室長) 学校の費用で公務補が修理をしている。
(佐藤守委員) 保健体育費で教職員健康診断費とあるが、学校の先生が病気になって休む場合は、フォローする機関とかは道教委で持つのか、苫小牧市自体が持つのか。
(教育長) 病院などに通うのは共済を使っているが、医者との関係の部分では道教委で管理している。この健康診断は一般の健康診断である。
(上原委員長) 何か意見や質問はあるか。ないようなので、原案どおり決定してよろしいか。
(一同「異議なし。」の声)
—原案どおり承認—
第10号 教育委員会職員の処分について (諮問)
(上原委員長) 議案第10号は人事案件のため、秘密会とする。
(一同「異議なし。」の声)
—原案どおり承認—

5 協 議
な し。
6 そ の 他
(1) 平成24年度苫小牧市学校給食会予算について
(第1学校給食共同調理場長) —平成24年度苫小牧市学校給食会予算書の説明—
(上原委員長) 何か意見や質問はあるか。
(佐藤守委員) 給食費を値上げしないと新聞報道があったが、今年度の収納率はどのくらいか。
(第1学校給食共同調理場長) まだ出ていない。
(佐藤守委員) 収納率が上がったということで、給食費を上げなくて済んだのか。
(第1学校給食共同調理場長) 収納率は、平成19年度が底で94.6%、昨年度は96.2%となっていて収入が増えている。食材の費用は上がっているが、給食費で賄えている。ただ、ぎりぎりであり、給食費をどうするのか検討する必要がある。24年度は、給食費を値上げしなくても、十分な給食を提供できる。
(上原委員長) 将来的には専門の徴収員が必要ではないか。保護者の意識が問題だと思う。確かに収納率は上がっているが、不能欠損の額は大きい。
(第1学校給食共同調理場長) 収納率を上げるためには、きめ細やかな対応が必要だと考えており、1名嘱託職員を徴収員の配置を人事部局にお願いしている。
(上原委員長) 本当に困っている家庭には対応する制度がある。支払能力がある家庭が問題だ。給食費の滞納は、子供にも悪い影響を与える。



7 委員会閉会の宣言（上原委員長）…16時50分